

2022年12月ドミニカ(共)内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国大使館

1 内政

(1) 6日付「リスティン・ディアリオ」紙は、ハイチの首都ポルトープランスでは政府に代わりギャングが支配しており、国内には約200の武装グループがあり、その半数以上が首都で活動している旨報道。

(2) 8日付「リスティン・ディアリオ」紙は、ハイチとの国境付近において、2021年10月から陸軍及び空軍の国境警備体制を強化している旨報道。

(3) 21日、当国移民当局は、12月の20日間で13,475名の不法滞在外国人を強制送還した旨発表。

2 外交

(1) 5日、Zhou Yuqi 当地中国臨時代理大使は、アビナデル大統領を表敬し、二国間貿易等について会談。

(2) 9日、アビナデル大統領は、第56回中米統合機構(SICA)首脳会合に出席し、参加各国に対しハイチへの支援を要請。

(3) 21日、アルバレス外相は、国連安保理において、ハイチへの多国籍軍の派遣に関する決議案の早急な実施を呼びかけ。

3 経済

(1) 2日、アビナデル大統領は、プンタ・カナにおいて、21カ国の代表が集まる第25回イベロアメリカ自由貿易地域会議を主催。

(2) 3日、アビナデル大統領は、モンテクリスティ県マンサニージョにて、エネルギー発電所3基及びガスターミナルの建設プロジェクト(投資額2,470百万米ドル)を発表。

(3) 30日、当国中銀は、2022年12月の金融政策決定会合にて、金融政策金利を年率8.50%に据え置くことを決定。